

【自己採点表への記入時の注意事項】

- 1 入札者は入札者名欄と評価基準ごとの自己採点欄のみ(黄色のセル)記入してください。
発注者は評価基準ごとに記入された自己採点欄についてのみ、得点の確認を行うので、小計欄や合計欄に記載された数値は、発注者の確認の対象となりません。
- 2 複数の自己採点表が提出された場合は、記載された自己採点の合計の値が最も低い自己採点表を、発注者の確認の対象として取り扱います。
- 3 評価基準におけるそれぞれの自己採点欄に、2つ以上の得点(数値)が記載されていた場合は、記載された数値の中で最も低い値を、自己採点の得点として取り扱います。
- 4 自己採点欄を空白とした場合は、空白となっている項目について得点を0点として取り扱います。
- 5 入札者名欄に入札者と異なる社名が記載されていた場合、当該入札において失格とはなりませんが、加算点を0点として取り扱います。また、談合等の疑いがあるときは、調査の対象となる場合があります。なお、入札者名欄が空欄の場合は、加算点を0点として取り扱います。
- 6 自己採点欄に記載された数値が判読できない場合(特殊なフォントを使用した場合などに生じるいわゆる「文字化け」も含む。)は、当該評価項目に対する得点を0点として取り扱います。ただし、ファイル全体を読み込むことができない等の場合は、発注者から自己採点表の再提出を求めることがあります。
- 7 自己採点の得点が、入札者から提出された技術資料を確認することによって発注者が確認した得点と異なっていた場合の取り扱いは次のとおりです。
 - (1) 入札者の得点が発注者の採点した得点より高かったとき
→ 発注者の採点した得点の $1/2$ を得点とします。
(例) 入札者が記入した得点 3.0点
発注者の採点した得点 2.0点
→ 得点 $2.0 \div 2 =$ 1.0点
 - (2) 入札者の得点が発注者の採点した得点より低かったとき
→ 入札者の採点した得点とします。
(例) 入札者が記入した得点 2.0点
発注者の採点した得点 3.0点
→ 得点 $=$ 2.0点
- 8 自己採点表を入札の際に提出しなかった場合
→ 当該入札において、失格となりませんが、加算点は0点として取り扱います。
(入札が適正に行われていた場合は、標準点は与えられます。)

9 それぞれの評価項目に記載している配点のいずれかの点を自己採点欄に記入してください。

【参考例】

評価項目	評価基準	配点	自己採点	市の採点	得点
平成 17 年度以降（過去 15 年間）に発注された同種工事の施工実績の有無	矢板長 22.0m以上の鋼矢板の油圧圧入工事の元請け実績あり	2.0	/2.0	/2.0	/2.0
	矢板長 11.0m以上の鋼矢板の油圧圧入工事の元請け実績あり	1.0			
	矢板長 11.0m未満の鋼矢板の油圧圧入工事の元請け実績あり	0.5			
	上記のいずれにも該当しない。	0.0			

10 工事成績の平均点の端数処理は小数点第 3 位を四捨五入することとします。

（例） 7 4 点、7 6 点、7 7 点の 3 件の実績がある場合

（7 4 点＋7 6 点＋7 7 点）／3 件＝7 5．6 6 6・・・点→7 5．6 7 点

11 配置予定技術者を複数名申請する場合、一番低い評価点の人で採点してください。